

平成25年 決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	給食センター生ごみ堆肥化事業	文教福祉分科会

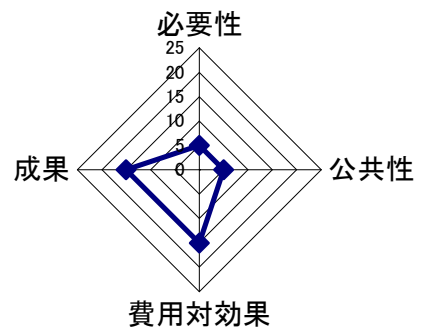
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	学校等で肥料が使われている。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	5	学校給食という、公共性のきわめて高い現場ではあるが、現時点において給食センターで行う事業ではない。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	再リース時期(毎年)には、常に検討する必要がある。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	生ごみ堆肥化と有効利用の観点からは成果があった。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
同じ生ごみ堆肥化事業を広域衛生組合でも行っており、事業の効率化を考えた場合は、広域衛生組合に統合すべきである。

平成25年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ・維新会
-----	-----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	給食センター生ごみ堆肥化事業	文教福祉分科会

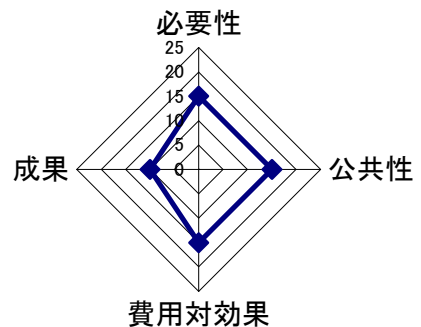
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	学校給食から出る生ごみのリサイクルする点では有用であるが、生ごみを最小限にする努力・方策をとることが第一である。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	15	学校給食という極めて公共性が高い事業から派生した事業なので、生ごみのリサイクルも当然であるが、あらかじめ生ごみは出るという考えはあらためたほうがよいと考える。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	現在の生ごみを堆肥化する機会の修理維持費などを考慮して、新しい機会を導入しなければならなくまでは行うべきだと考える。出来た堆肥を無償で配るのも再考すべきである。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	学校の給食から出た生ごみなので、これを学校教育の上で利用し、リサイクルの考えを、児童生徒に知らしめる、教材としての利用を考え、市民にもPRすべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
機械が動く限りはこの事業を継続したほうが、費用もかかることはなく得策であるという結論に達した。

平成25年 決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	給食センター生ごみ堆肥化事業	文教福祉分委会

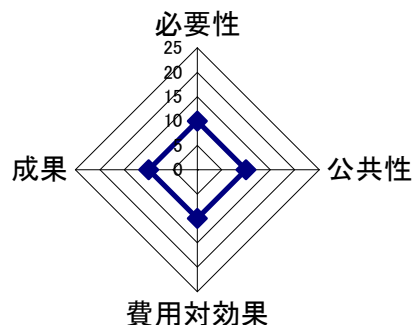
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点)		市民はあまり知らない事業。
	②必要性が高い(20点)		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	○	
	⑤必要性が低い(5点)		
	⑥必要性がない(0点)		
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点)		10
	②公共性が高い(20点)		
	③どちらかといえば公共性が高い(15点)		
	④どちらかといえば公共性が低い(10点)	○	
	⑤公共性が低い(5点)		
	⑥公共性がない(0点)		
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点)		10
	②効果的である(20点)		
	③どちらかといえば効果的である(15点)		
	④どちらかといえば非効果的である(10点)	○	
	⑤効果が少ない(5点)		
	⑥効果がない(0点)		
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点)		10
	②成果がある(20点)		
	③どちらかといえば成果がある(15点)		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	○	
	⑤成果が少ない(5点)		
	⑥成果がない(0点)		

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
常総広域に一般ごみとして、他の自治体は出している。事業としての役割は終わりにすること。

会派名	みんなの党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	給食センター生ごみ堆肥化事業	文教福祉分科会

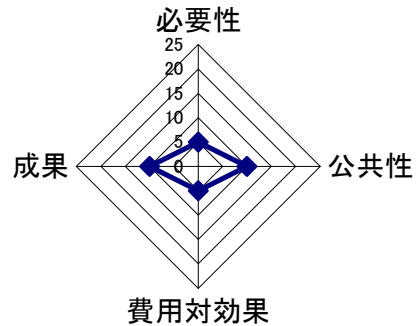
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	認知度は低く、市民の要求は少ない。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	10	ごみの減量化は切実ではない。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	5	必要性は低い。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	堆肥総量等成果は横ばい。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	30
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
市全体として見て、当初の目的であったごみの減量化に対する切実さは低く、堆肥化による減量化の必要性はあまりない。堆肥自体が目的ならば、環境センターでの対応や外部からの購入も行える。学校での教育目的ならば他にも手段がある。リース契約の関係等を考慮し、適切なタイミングで廃止を検討すべき。

平成25年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	給食センター生ごみ堆肥化事業	文教福祉分科会

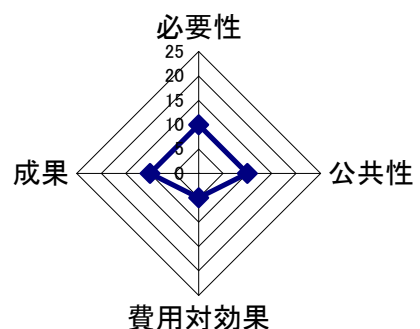
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	目的がはっきりせず中途半端である。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	10	設備の修繕費も増えてきているので常総広域での処理も考えていかなければならない。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	5	堆肥化をするのにコストがかかりすぎている。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	各学校から出る残飯等の量があまり減少していない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	35
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
今後の運営について検討の余地あり。